

平成二十八年年度

第一回「まちづくり愛川・俳句大会」入賞作品

【一般の部】

◇最優秀賞

〈愛川町教育委員会教育長賞〉

・柿若葉十八才が走り出す

(春日台 亀田雅江)

〈「まちづくり愛川・俳句大会」実行委員長賞〉

・木のベンチ秋の瀬音の真ん中に

(鳶尾 矢下育子)

◇優秀賞

〈「ホツとベンチ賞」〉

(順不同)

・つづら折りのぼりて古刹こきまつ彼岸花

(中津 杉山由紀子)

・段二百八音参りの落葉踏む

(山際 井上勝朗)

・仏果山まるごと蟬となる日暮れ

(妻田東 北村純一)

・野の香り貧しきころの零余子炒る

(半原 白井信子)

・秋霖の一滴一滴ダムに溶け

(東京都 山野柘榴子)

◇奨励賞

〈選句委員特別賞〉

(順不同)

・筍の朝見て昼見て夜の丈け

(中津 長島和子)

・ベンチ横ひと待ち顔で百日草

(中津 森田京子)

・合戦の三増峠や鷹渡る

(妻田北 阿部川光興)

・桑の実や遠き記憶に絹の道

(妻田東 吉成征一)

・竹林をぬけくる風に鮎香る

(角田 伊藤由紀子)